



成人矯正において DH ができること： 学んでおきたい病理・心理・技術

株式会社スマイル・ケア 代表取締役
土屋 和子

人生百年時代といわれる中、「成人矯正」は今後ますます必要とされるであろう。“人生百年時代”とは、100歳まで人生が続くのが当たり前となる時代のことであり、2016年に出版された Dr. Lynda Gratton による『LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略』は世界的なベストセラーになった。本書では不健康な期間は短くなり健康な期間が長くなるだろうと予測されている。その背景には予防医学や啓蒙キャンペーンがある。歯科医療界においては『8020』である。しかし、近い将来『10020』が推奨されるかもしれない。

さて、その予防歯科医学において、口腔二大疾患であるカリエスや歯周病の予防もさることながら、現在注目することは歯ぎしりやくいしばりの緩和である。2016年NHKスペシャルでは『キラーストレス』が放映され、ストレスがどのように身体を蝕むか、その壮絶な影響に驚愕した方も多い。一昔前とは違い、インターネットを中心とした情報技術の革新によってもたらされる情報量は、脳においてその情報を処理することに追いつかない程の量であり、そのストレスが歯ぎしりや食いしばりに作用すると考えられる。また、パソコンやスマートフォンを使用する時の姿勢が口呼吸や歯列不正に影響するとも考えられている。

これらのことを考慮すると、成人矯正の目的が審美的な歯並びや歯周病とカリエスの予防だけではなく、健康な歯列から得られる咬合の安定が大きなものとなろう。100年の寿命を健康に全うするため、歯はさらに機能しなくてはならない。

今回は、歯科衛生士として学んでおきたい病理と心理として『ストレス』に焦点を置き、ストレスが及ぼす身体への影響について解説する。また、技術として術者にストレスのないパウダーを使用したメンテナンス方法と、矯正治療中におけるストレスの緩和効果が期待できるアクセスバーズ™を紹介したい。

略 歴

歯科衛生士歴41年
フリーランスDHとして数多くの臨床経験
現在「土屋歯科クリニック&work's」
「ウエマツ歯科医院」
「TeamTokyo NOBUデンタル」に勤務

株式会社スマイル・ケア代表取締役
デンタルNLP®主宰
アクセスバーズファシリテータ